

# 創立130周年を迎えて



北海道函館商業高等学校  
父母と教師の会

PTA会長 二ツ谷 健 宏

私自身、本校を卒業し二十数年。当時の建物は、昭和初代校舎で、現在昔の想い出の面影が残るものは、今回、表記を新たにした北辰記念館と駐車場の片隅にある校門の門柱の一部が確認出来ます。卒業以来、仕事の関係で函館を離れていたこともあります。一度も学校を訪れる事もなくおりましたが、2年前ご縁があり、娘が我が母校に入学する事になり新校舎へ。生徒の変わらぬ制服姿や、入学式開始を待つ間、校歌や五陵が丘、チャイナメ節の応援歌のBGMが流れ、何故か歌える自分に驚きつつ学生時代の記憶が蘇ってきました。

こうして母校が子供の代まで残っている事に感謝し、そして今現在、父母と教師の会、会長をさせていただき、大変光栄に思っております。

今まで本校発展に熱心に取り組んでこられた歴代の学校教職員の皆さまをはじめ、同窓会の諸先輩の皆さま、歴代PTA役員及び会員の皆さま、そして地域の皆さま。それぞれ一人ひとりが学校を支え合い、函商の古き良き伝統を代々引き継ぎ、伝え、本日の良き日に北海道函館商業高等学校創立130周年記念式典・祝賀会を迎えることが出来たものと、心より敬意を表します。

この130周年は、まだまだ通過点でございます。本校が今後140周年、150周年・・・と、この伝統の灯を受け継いでいく為には、学校、同窓会、PTAが三位一体となり、連携を密にし、取り組んで行かなければならぬと改めて感じているところでございます。

これからも引き続き皆さまのお力添えを何卒よろしくお願ひ申し上げます。

次の140周年でお会いいたしましょう！



全日照生徒代表  
第67代生徒会長

山谷 菜那世



定時制生徒代表  
生徒会会長

本間 春菜

創立130周年という記念の年に本校の一員であることを大変嬉しく思います。本校の校歌は10年毎に歌詞の一部が書き変わるため、「百二十年」、「百三十年」のどちらでも歌わせていましたが、長年歌い継がれてきた歌だと思うと、より一層身が引き締まる思いであります。私たち生徒会執行部一同も先輩の皆様が受け継いで来られた歴史と伝統を誇りに思って、これから生徒会活動の充実を図るとともに、この函商の歴史と伝統を次代に伝えていくために、生徒一同となってその名に恥じない函商生でなければならないと思います。

次々と気持ちをつないで、これからも函商の歴史が末永く刻まれていくことを願っております。

今年で創立130周年を迎える節目の年に、本校生徒の一員でいられることは、私たち函商定時制生徒一同にとっても大きな喜びであります。

「函商」の諸先輩方のご活躍を耳にするたびに、「函商」の歴史の重さを感じます。

私たち定時制の生徒も、これまでの永きに渡る歴史を誇りに思い、自己実現に向けて、学習の充実を図る中で、諸先輩方が築き上げてきたこの伝統ある「函商」の名を汚さぬよう、自覚と責任を持って学校生活を送りたいと思っています。

最後になりますが、私たちも「函商」の発展を担う者として、これからも全日制と協力しともに邁進していきたい、という思いを新たにしております。